



新潟県産「メロン」を香港へ4年連続で輸出

東北経済連合会（会長：樋口康二郎 以下「東経連」）は、新潟商工会議所（会頭：廣田幹人）及び新潟県内の関係諸団体の協力を得て、新潟の生産者と九州の地域商社「九州農水産物直販株式会社」（以下「九直」）を結び付けることにより、2023年から4年連続で県産メロンが出荷されることになりましたので、お知らせします。

輸出されるのは、香港で人気のある赤肉メロン（クインシー）1,440玉（1ケース4玉入り×360ケース）で、昨年に比べ輸出货量が増加しております（昨年は1,000玉）。

今回の赤肉メロンは、九直を通じて6月23日に生産者から出荷され、香港の大手小売グループであるデイリーファーム（参考3参照）の店頭で販売されます。

メロンの生産者である「株式会社^{さなだ}真田農園」（新潟市西区赤塚）の^{さなだまさゆき}真田政幸代表取締役は「来年度はさらに数量を出せるよう体制を整えて準備している。新潟の砂丘地帯で作られた糖度の高いメロンを是非、香港の方に味わっていただきたい」と話しています。

九直関係者は、「九州（熊本、長崎）のメロンが終わったあとの産地リレーで、出荷が切れることなく、棚もちが良く食味の良い真田農園様のメロンを今年も3週に渡り出荷できることを大変うれしく思っております。昨年も店舗からの評価が高かったのをバイヤーも記憶しており、比較的早い段階で今期の取り扱いが決まりました。市況が決して良くない中でも昨年以上のボリュームでオーダーが上がってきたので新潟メロンへの期待の大きさを感じます。」とコメントしています。

今回の輸出事業に協力いただいた新潟商工会議所では、新潟の魅力ある農産物の輸出拡大をオール新潟で推進しており、今回の輸出に関しては、新潟県、新潟市、ジェトロも現地にてプロモーションを行う予定としております。東経連としても、こうした取り組みを全面的に支援し、新たな新潟県産品の輸出に繋げてまいります。

以上



収穫前のメロン



出荷するメロン



トラックに積込む前の状態



トラックへの積み込み

【本件に関するお問い合わせ】

(一社) 東北経済連合会
新潟商工会議所

食・観光グループ
事業部地域振興課

五十嵐
相馬

電話：022-397-6528
電話：025-290-4207

(添付資料)

1 案件の概要

品目	メロン（品種：クインシー）
ロット	合計 360 ケース（1 ケース 4 玉）
出荷者	株式会社眞田農園（新潟市西区赤塚）
輸出商社	九州農水産物直販株式会社（福岡県福岡市）
輸出先	デイリーファーム（香港）
スケジュール （予定）	<p>1 回目（120 ケース） 6 月 23 日（火） 眞田農園出荷 7 月 2 日（木） 香港港着予定 7 月 4 日（土）以降、順次デイリーファームで販売開始予定</p> <p>2 回目（120 ケース） 6 月 30 日（火） 眞田農園出荷 7 月 9 日（木） 香港港着予定 7 月 11 日（土）以降、順次デイリーファームで販売開始予定</p> <p>3 回目（120 ケース） 7 月 7 日（火） 眞田農園出荷 7 月 16 日（木） 香港港着予定 7 月 18 日（土）以降、順次デイリーファームで販売開始予定</p>

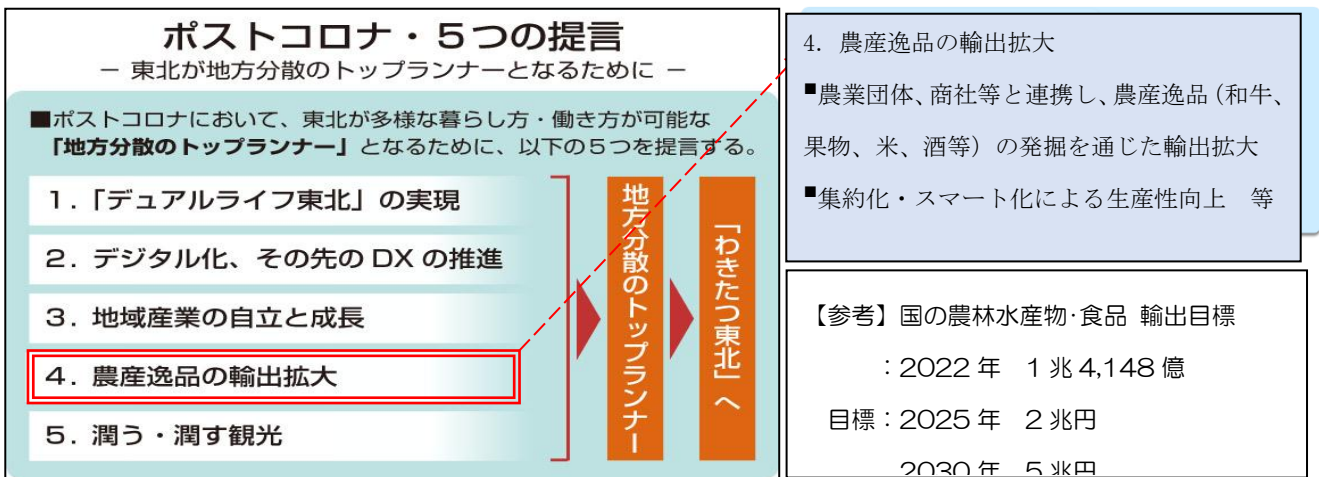
2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援一覧

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース (5~6玉/ケース)
			2022年8月~9月	合計384ケース (5~6玉/ケース)
	鶏卵		2022年3月	608ケース (15パック/ケース)
	キャベツ		2023年7月	100ケース (8玉/ケース)
			2024年9月~11月	2,430ケース (8玉/ケース)
	メロン		2024年8月	160ケース (5~6玉/ケース)
	ナガイモ		2024年8月~3月	1,440ケース (400g×10パック/ケース)
大根	2025年7月~10月	190ケース (10本/ケース)		
岩手県	キャベツ	香港	2023年7月~10月	1,100ケース (8玉/ケース)
			2024年6月~9月	1,870ケース (8玉/ケース)
			2025年7月~10月	約4,000ケース (8玉/ケース)
	米		2023年10月	432ケース (10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年6月	500ケース (10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年12月	100ケース (10袋/ケース、2Kg/袋)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月、4月	300ケースずつ、合計600ケース (10kg/ケース)
			2021年11月~2022年3月	約120トン (10kg/ケース、約12,000ケース)
			2022年11月~2023年3月	約100トン (10kg/ケース、約10,000ケース)
			2023年11月~2024年3月	約30トン (10kg/ケース、約3,000ケース)
			2024年12月~2025年3月	約40トン (10kg/ケース、約4,000ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2025年11月~2026年4月	約30トン (10kg/ケース、約3,000ケース)
			2021年10月	22ケース (40パック/ケース)
			2022年9月	22ケース (40パック/ケース)
	仙台牛	台湾	2023年9月	8ケース (40パック/ケース)
			2023年7月~2025年3月	12頭/月
2025年4月			14頭/月	
秋田県	枝豆	香港	2025年5月~	18頭/月
			2021年11月	630ケース (8玉/ケース)
	メロン		2022年9月	50ケース (20袋/ケース)
			2025年9月	50ケース (20袋/ケース)
りんご	2025年8月	100ケース (4玉/ケース)		
	2025年12月	156ケース (14~18玉/ケース、5Kg/ケース)		
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース (5玉/ケース)
			2021年7月	48ケース (5玉/ケース)
			2022年7月~8月	合計500ケース (4~6玉/ケース)
			2023年7月	合計480ケース (4~6玉/ケース)
			2024年7月	合計610ケース (5~6玉/ケース)
	2025年7月~8月	合計530ケース (5玉/ケース)		
	モモ	シンガポール	2024年8月~9月	合計100ケース (12~16玉/ケース、5Kg/ケース)
啓翁桜	香港	2023年2~3月	合計245ケース (20束/ケース)	
新潟県	メロン	香港	2023年7月	50ケース (4玉/ケース)
			2024年7月	200ケース (4玉/ケース)
			2025年6月~7月	250ケース (4玉/ケース)
			2026年6月~7月	360ケース (4玉/ケース)

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

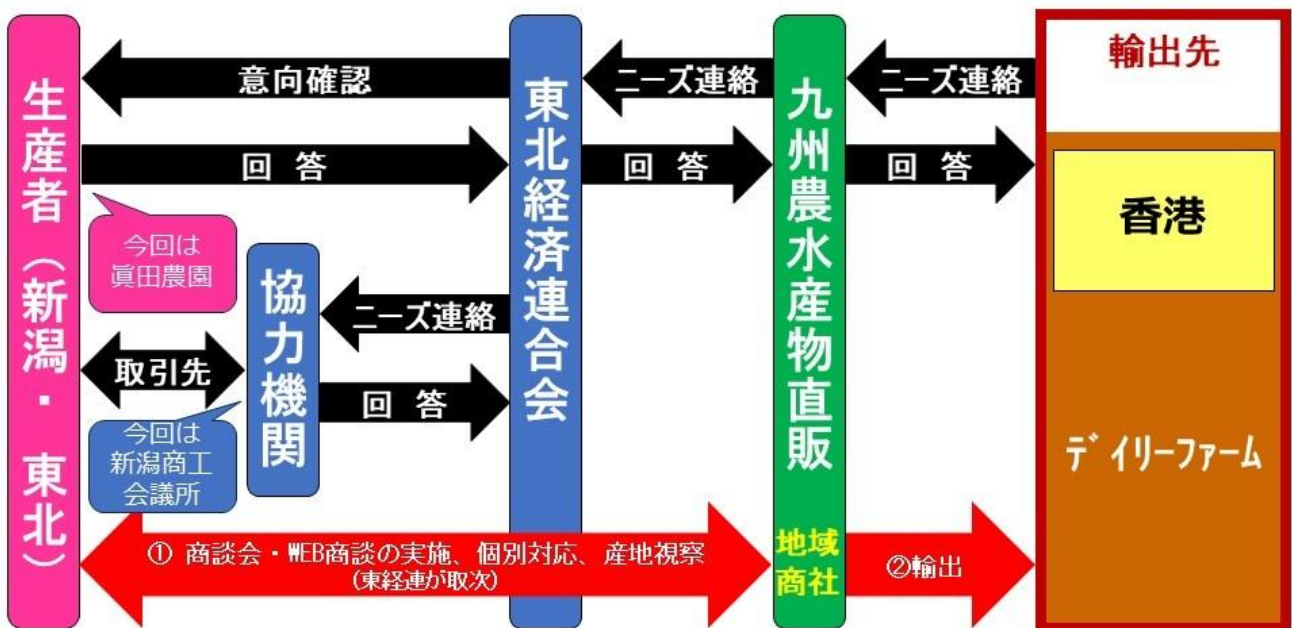
【輸出事業の位置付け】

- 東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。
- 輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、新潟・東北の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、新潟・東北域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・新潟・東北域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考1】九州農水産物直販について

会社名	九州農水産物直販株式会社
代表者	小田 保（元：九州経済連合会 農林水産部長）
所在地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設立	2015年8月28日
資本金	1,890万円
業務内容	農水畜産物の輸出入ほか
株主	JAみやざき、(株)麻生、九州電力(株)、(株)クラフティア、エスジーグリーンハウス(株)、日本通運(株)、三井住友信託銀行(株)

【参考2】眞田農園について

名称	株式会社眞田農園
代表者	代表取締役 眞田 政幸
所在地	新潟市西区赤塚 4053
設立	2023年5月30日法人化（眞田農園は歴史ある農園で、現代表の眞田政幸氏は創業者から数えて20代目に当たる。）
資本金	100万円
業務内容	青果物等の生産（メロン・スイカ・カブ・ネギなど）
作付け面積	5.3ha

【参考3】デイルーフームについて

会社名	DFI Retail Group Holdings Limited （元：Dairy Farm International Holdings Limited）
業種	小売業
主要株主	Jardine Matheson Holdings
創業	1886年
年商	約3兆6千億円
店舗展開	約10,000店舗（コンビニ、美容、飲食店、スーパー、家具店などアジア13の国々で展開）
うちスーパーマーケット	約1,700店舗（香港では約300店舗を展開。他、中国、マレーシア、シンガポールなどで展開）